

株式会社 ワールドビジネスパートナー

い が ら し はじめ
五十嵐 一 代表



外国人労働者へのきめ細かなサポート

株式会社ワールドビジネスパートナーは、外国人に特化した人材紹介・派遣事業及び海外の新卒採用を展開する。外国人派遣スタッフは、アジア出身者を中心に1千人を超え、派遣先は日本全国に広がる。特にインバウンド増加を背景に、ホテル業界のニーズが大きいそうだ。売上高は設立以来、毎年2.5倍ずつ拡大を続け、2018年1月にモンゴル支店、同年4月に東京支店を開設。従業員も約30名となった。

当社の強みは、紹介・派遣する外国人スタッフの質の高さと紹介・派遣後のフォロー体制にある。従業員の半数以上が外国人であり、大阪大学をはじめ日本の大学に留学、卒業したり、国内企業に勤務したりしているため、派遣先企業とは日本語で、派遣スタッフとは母国語でコミュニケーションがとれ、派遣先企業とのミスマッチを最小限に抑えている。日々の小さなトラブルもその都度、解決している。

また、初めて日本に暮らす派遣スタッフが安心して働き、生活できるように、住居の賃貸契約、電気・水道等の手続の補助や、ゴミ出しなど近隣住民とトラブルになりやすいルールについての研修など、サポート体制を充実させている。

尼崎から受けた恩

このようなきめ細やかなフォローを行うのも、代表の五十嵐一氏が中国の内モンゴル自治区の出身で、日本で働く苦労を実感してきたからだ。

五十嵐氏は、2人の尼崎市市内企業の社長が出資して設立された、内モンゴル初の外資系高等学校の卒業生だ。この社長の支援で日本の大学に留学し、卒業後は、日本の大手人材派遣会社に5年間

勤務した。

「尼崎の社長さんや、多くの方々のお陰で今の自分がある」と、五十嵐氏は恩を感じている。一方で、自身の苦労や派遣会社での経験を通して、日本における外国人採用・就労のハードルの高さを感じている。それならば、この恩を、今後夢を抱いて日本へ来る後輩たちの支援をすることで返していきたいと、創業を決意した。

若者の困窮の解決も視野に

当社の「人の役に立つことを考える！」というビジョンの通り、今、力を入れているのは、人材不足で悩む日本の企業と、経済的に進学が難しい海外の学生とのマッチングだ。海外では学費があれば、大学を卒業し困窮から脱することができる若者はまだ多い。そのような若者の支援のために、アジア各国の大学と連携し、インターンシップ制度で日本企業で働く実績をつくりながら、学費もまかなえる仕組みを3年前から作り、のべ500名の学生を日本の企業に紹介している。

若者の来日のハードルを下げる取り組みのひとつとして、2019年10月から、日本の学校と提携し、新たな奨学金制度を構築。主にインターンシップ経験者を対象に来日のハードルを下げ、日本での生活、アルバイトから将来の就職先までサポートできる体制を作り、学生と企業ともにウィンウィンな関係になれるように仕組みを作っている。

企業データ

代表者プロフィール：30代・男性・遊牧民出身
創業：2016年2月
事業内容：外国人に特化した総合人材サービス業
従業員数：約30人
所在地：尼崎市東難波町5-17-23
第一住建尼崎ビル2F
電話：06-6423-8308
ホームページ：<http://www.wbp-jinzai.com/>